

飯田市教育大綱（2017-2020）

[理 念]

ゆい 結

飯田の地では、山を切り開き、水を引いて水田を作ってきた歴史の中で、人々はお互いに力を合わせて田植えや稲刈りを行いました。人々が労力を出し合う相互扶助のしくみのことを「結い」といい、「結い」でつくられる田のことを「結いの田」と呼び、それが転じて「飯田」になったとも言われています。

飯田市では、ムトスと結いの心により、市民、事業者、行政が協働して、住む者が心豊かに暮らすことができ、地域外からも魅力を感じて人々が訪れるようなより善い「飯田」をつくっていくことを目指しています。

教育においても、この地域で長い間に育んできた、お互いが心を通わせ、力を合わせる「結い」の精神を大切に、学校、家庭、地域、行政、機関・団体等の多様な主体が「結いの心」でつながり、心をつなげて、「地育力による 未来をひらく 心豊かな人づくり」に取り組みます。

[理念実現のために]



組織と計画を結ぶ

飯田市では、総合計画『いいだ未来デザイン 2028』を策定し、「リニアがもたらす大交流時代に「暮らし豊かなまち」をデザインする ～合言葉はムトス 誰もが主役 飯田未来舞台～」を目指すビジョンとして総合的なまちづくりを進めます。その一方で、飯田市教育委員会では、『第2次飯田市教育振興基本計画』に基づき、「地育力による 未来をひらく 心豊かな人づくり」を教育ビジョンとして教育・文化・スポーツ振興を図ります。

人づくりにつながる教育関連施策は、『第2次飯田市教育振興基本計画』によることを基本としますが、これを、産業づくり、人づくり、地域づくりを含めた総合計画である『いいだ未来デザイン 2028』と有機的に結びつけ、市長部局と教育委員会が連携し、さらには、様々な組織が協力し、教育ビジョンに向けた実践を進めます。



地域と教育を結ぶ

飯田の地は、江戸時代から儒学・国学が盛んで寺小屋も数多くつくられ、明治時代には学制発布の直後に地域住民が土地、資材、資金を出し合い校舎を建設し、教員を確保して学校教育を始めました。

また、大正期から盛んとなった青年運動が育んだ土壌の上に、戦後間もなく住民自治の学校である公民館が各地域につくられ、地域の担い手を育てる学習活動や、住民交流を盛んにする多様な事業が活発に展開され、今日につながってきています。

こうした教育を重んじ、学びが盛んな土壌と、ここから生まれてくる地育力を生かし、学校教育では、飯田コミュニティスクールの仕組みにより地域が参画・協働する学校教育の推進を、生涯学習では、人づくりを担う公民館と地域づくりを担う地域自治組織等が連携・協働し、20地区が輝き、自治の力を原動力とした地域づくりを進めます。



過去と未来を結ぶ

飯田の地は、1500年以上前の古墳時代から今日に至るまで、日本の東西を繋ぐ交通、交易の結節点にあって、独自の産業・文化・人材を生み出し、日本の国づくりに重要な役割を果たしてきました。

こうした歴史は、来るべきリニア時代においても、飯田が本来持っている地勢と潜在力を生かし、新たな価値と文化を創造・発信しながら未来をひらいていくという、この地域のあるべき姿を示唆しています。

地方創生が叫ばれる今、市長部局と教育委員会が連携し、当地域において市民・行政が協働した調査研究活動の中で培ってきた知見と、地域外の専門的・客観的な知見の融合により、これからの時代の地域振興に有効な新たな価値を創造、発信する「地域振興の知の拠点」づくりに取り組みます。

いいだ未来デザイン2028 (2017-2028)

目指す姿

リニアがもたらす大交流時代に
「暮らし豊かなまち」をデザインする

合言葉はムトス 誰もが主役 飯田未来舞台

《目指すまちの姿》

- 私らしい暮らしのスタイルを楽しむまち
- 地域の応援で子育ての幸せが実感できるまち
- 人と人がつながり、安全安心に暮らせるまち
- 人と自然が共生する環境のまち
- 健やかに生き生きと暮らせるまち
- 持続的で力強く自立するまち
- 学びあいにより生きる力と文化を育むまち
- 地域の誇りと愛着で20地区の個性が輝くまち

基本目標 (2017-2020)

- ① 若者が帰ってこられる産業をつくる
- ② 飯田市への人の流れをつくる
- ③ 地育力が支える学び合いで、生きる力をもち、心豊かな人材を育む
- ④ 自然と歴史を守りいかし伝え、新たな文化をつくりだす
- ⑤ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- ⑥ 「市民総健康」と「生涯現役」をめざす
- ⑦ 共に支え合い、自ら行動する地域福祉を充実させる
- ⑧ 新時代に向けたこれからの地域経営の仕組みをつくる
- ⑨ 個性を尊重し、多様な価値観を認め合いながら、交流する
- ⑩ 豊かな自然と調和し、低炭素な暮らしをおくる
- ⑪ 災害に備え、社会基盤を強化し、防災意識を高める
- ⑫ リニア時代を支える都市基盤を整備する

飯田市教育大綱 (2017-2020)

《理念》

ゆい
結

《理念実現のために》

- 1. 組織と計画を結ぶ**
- 2. 地域と教育を結ぶ**
- 3. 過去と未来を結ぶ**

第2次飯田市教育振興基本計画 (2017-2028)

教育ビジョン

地育力による 未来をひらく 心豊かな 人づくり

変化の激しいこれからの時代に向かって、グローバルな視野と感性、ふるさと飯田への誇りと愛着をもって、自らの力で未来を切りひらいていける力を育む

《振興方針》

- 「地育力」により「ムトスの心」と「結いの心」を育む
- 多様な主体が協働し飯田の未来を担う子どもたちの「生きる力」を育む
- 「私の学び」と「私たちの学び合い」を高め、魅力ある人・地域づくりを進める
- 「市民主役」の文化・スポーツ活動を、より活発に展開する
- 「伊那谷の自然と文化」を学びと地域づくりに生かし継承する

前期重点目標と取組の柱

《3つの重点目標》 (2017-2020)

1. すべての子どもたちが輝く学校を地域ぐるみで創る
2. 地域と日本と世界を結ぶ「LG(地域・地球)飯田教育」の推進
3. 「伊那谷の自然と文化」を守り育み世界につながる価値を創発

《取組の12の柱》 (2017-2028)

- ① 発達・成長の土台をつくる
- ② グローバル時代を生きる力を育む
- ③ ふるさと飯田への愛着を育む
- ④ 豊かな心を育てる
- ⑤ 学びの環境を保障する
- ⑥ 地域ぐるみで子どもを育てる
- ⑦ 生涯学び続けられる環境をつくる
- ⑧ 地域づくりの担い手を育む
- ⑨ 文化力を高め心豊かな市民生活を実現する
- ⑩ スポーツにより人と地域が輝く社会(まち)づくりを進める
- ⑪ 「伊那谷の自然と文化」の学究・普及・継承・活用を推進する
- ⑫ 教育関連施設のマネジメントを進める